

# 野間清治記念館について

野間清治記念館副会長

大西 康之

創生に野間清治記念館をという願望については、今までもその都度議論はありましたが、難しさのために具体的に進める事にならずに委せてお

ました。

先の総会で野間清治記念館副会長という役が置かれる事となりました。それで本年度は最初の仕事として、野間清治顕彰会としての野間清治記念館についての共通したイメージづくりに取り組むこととしました。

先日来、お会いする人毎にそれぞれが考える記念館のイメージをお聞きしています。

今とこころ

時間について●時間については講談社創立百周年や相生市制施行九十周年を無に考えたらどうかということでした。

建物について●建物については新しい建物を作る人と、時代が変わって今ある建物を活用する時代だという人がいます。新しい建物では、本をイメージする三階建て位の建物や華山の田原町博物館を参考にし野間清治記念館としてふさわしいものをお願いしています。全図区という意見がありました。全図区という表現でそれにふさわしい建物をと

いう意見もありました。活用すると言った人では公の建物が余すところ様子で、例え、明和地区などということでは

場所について●場所については五十号線沿いの意見の他、先に述べた明和地区、水道山周辺、図書館と併立、金木屋さんなど市街地などがありました。

お金について●お金については先ず、野間清治顕彰会が呼びかけて市民運動で数千万円のお金を集め、若にその市民活動の意義を挙げて市立で作っていたらどうかという意見が一般的でした。また、その他では、相生は色々な物が点在してま

とまりに欠けるので野間清治記念館を相生のシンボルパークと言えりような物を作るか、成いは、シャトルバスなどで大川原新館、有楽館などを繋いで全体を統一感があるようにしたらどうかという意見もありました。

これから、さらに皆さんの意見を聞き取って今年度中に全体として野間顕彰会が持つイメージを醸成したいと思

ついで、●東京の野間清治記念館を近く見せて頂きます。報告もしたいと考えています。

## 『ふるさとの風』 発行にご協力を

野間清治顕彰会副会長・広報担当  
原 澤 札 三

広報部の活動は「ふるさとの風」と題して一年に一番を発行、シリーズとして継続していく計画です。

広報部の目的は、ふるさと創生にゆかりのある人が政治・経済・産業・文化・教育・スポーツ等の分野で大きな業績を挙げてきた方への足跡や、貴重な文化財や歴史の道跡等を取り上げて、市民に理解と関心を深めていくことでもあります。

この「ふるさとシリーズ」四行のルーツは、大正二年二月に相生市前の全小学校の生徒たちに「愛郷心の育成と将来はふるさと創生のために活躍する人物の育成を願って発行された『郷土の巻』です。

広報部ではこの志を受け継いでスケッチした中で、ぜひ小学生の高校生、中学生、そして高校生の皆さんに愛読してほしいとお願いしています。

第一巻は二〇一〇年四月に『野間清治伝』を発刊しました。相生で生まれた野間清治は高学力行して講談社を設立「日本の雑誌王」と呼ばれました。講談社は野間の遺志を守って、現在もたくさんの方の国書を生かすの国書館に寄贈してあります。

第二巻は、創生高校野球部監督の「福川東一伝記」を二〇一〇年十二月に発行しました。生洋野球一筋に生きてきた福川の精神は、今日でも創生の高校野球に脈々と伝えられています。

第三巻は「産部助産伝」を今年十二月上旬に発行の予定です。産部は創生職物の全盛期にリーダーとして活躍し、創生職物の名声を全国から社界へ広めた人でした。また国会議員としても業績を残してきてきました。ご愛読くださるよう



風説社 野間記念館 (東京)